

中東情勢緊迫化に伴う主な建設資材の需給推移

主な建設資材の需給ステージの変化（2026年5月号～10月号／東京）

中東情勢緊迫化に伴う需給ひっ迫は7月号（6月上旬調べ）をピークに改善し、10月号（9月上旬調べ）でひっ迫に該当する資材は解消した。ピーク時は10品目中7品目が「ひっ迫」に集中していたが、現在は均衡5品目・ややひっ迫5品目に分散している。

背景① 政府の供給施策

政府によるナフサ・シンナー原料の供給拡大策で6月中旬頃から流通量が増加。原油も備蓄放出と中東以外からの代替調達で前年並みの供給量が確保される見込みとなった。

背景② メーカーの受注再開

主要メーカーの新規受注停止は5月以降順次解除され、防水材は7月上旬に全面再開の動き。断熱材も8月上旬から一部再開し、硬質ポリ塩化ビニル管は9月中の納期正常化を見込む。

背景③ 流通の落ち着いた

流通段階でも、供給再開に伴い先行き不安による仮需は沈静化し、受注残の消化も進んだ。数量制限や納期未定といった条件付き対応は大幅に減少している。

注意点① 残る供給制約

やや緩和・緩和に入った品目はなく平時復帰には至らない。ややひっ迫が残る5品目はいずれも石油化学系原料への依存度が高く、出荷制限や品種の絞り込みが一部で続いている。

注意点② 価格は高止まり

需給の改善は価格の下落に直結していない。5月以降の大幅な価格改定の影響は続いている。

注意点③ 情勢の不透明感

中東情勢は停戦合意の進展がなく衝突再燃の懸念が残る。原油相場の先行き次第では供給・価格の双方が再び振れる可能性がある。当面は改善基調だが引き続き注視が必要。

◆ 需給ステージの推移（中東情勢緊迫化の影響を受けた主な10品目）

	5月号 4月上旬調べ	6月号 5月上旬調べ	7月号 6月上旬調べ	8月号 7月上旬調べ	9月号 8月上旬調べ	10月号 9月上旬調べ
供給懸念あり	シンナー	シンナー	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ひっ迫	防水材	防水材 塩ビ管 潤滑油	塗料 シンナー 防水材 シーリング 断熱材 塩ビ管 潤滑油	塗料	塗料	該当なし
ややひっ迫	塗料 シーリング 断熱材 軽油 潤滑油	塗料 シーリング 断熱材 軽油	軽油	シンナー 防水材 シーリング 断熱材 塩ビ管 潤滑油	シンナー 防水材 シーリング 断熱材 塩ビ管 潤滑油	防水材 シーリング 断熱材 塩ビ管 潤滑油
均衡	再生アス ストアス 塩ビ管	再生アス ストアス	再生アス ストアス	再生アス ストアス 軽油	再生アス ストアス 軽油	塗料 シンナー 再生アス ストアス 軽油
やや緩和	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
緩和	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

□ 当月のHP掲載品目 ■ 当月はHP非掲載（建設物価には毎月掲載）

※ 建設物価 掲載ページ：塗料P198／塗料用シンナーP200／再生アスファルト混合物P211／ストレートアスファルトP219／防水材P456／シーリング材P458／建築用断熱材P516／硬質ポリ塩化ビニル管P688／軽油P788／潤滑油P790

お問い合わせはホームページの掲載内容、その他に関するお問い合わせからお願いします

問い合わせ先：一般財団法人 建設物価調査会 調査統括部